

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>それではこれより高齢者福祉審議会を始めさせていただきます。会議に先立ちまして、春名会長よりご挨拶をいただきます。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
高齢者支援課長	<p>これから議題に入るわけではありますが、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長は会議の議長となる旨が規定されておりますので、春名会長に以後の会議の進行をお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは議長を務めさせていただきます。委員の皆様には、会議がスムーズに運営されますようご協力をお願いいたします。現在の出席委員は9名です。よって、高齢者福祉審議会条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、本日の会議は成立いたします。また、本日の会議の傍聴については、ホームページで周知したところ、希望はありませんでした。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。</p> <p>川名委員お願いいたします。</p>
議長	<p>入間市第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定についてを議題とさせていただきます。一点目として「施設整備計画の検討について」、二点目として「各論について」、三点目として「その他」であります。はじめに、策定部会長である川名委員から報告を頂きます。配布資料については事務局からお願い致します。その後、ご質問等頂く形で進めていきたいと思っております。それでは一点目、施設整備計画</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名部会長	<p>の検討について川名委員よりお願い致します。</p> <p>9月19日18時より市民活動センター活動室1にて策定部会を行いました。出席できなかった東委員にもご意見を出していただきまして、事前に配布しました資料に基づきまして協議をいたしました。</p> <p>お手元の資料1をご覧ください。こちらの資料につきましては、策定部会参加の各委員が、現行の計画に載っているものと見比べながら協議を行いました。原田委員から数字の数については質問がございましたが、それについてはご回答をいただき、誤解されやすい表でしたが本日の時点で修正されておりますので、こちらをもとにご協議をいただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは配布資料についての説明をお願いいたします。</p>
介護保険課主幹	<p>お手元の資料をご覧ください。1枚目は被保険者数の実績で要介護と要支援認定者の実績です。2枚目に施設整備の計画、3枚目に施設整備とサービスを含めた整備上で計画したものの、実績数をお示しております。</p> <p>はじめに、資料1の1枚目の上の表をご覧ください。</p> <p>被保険者数実績の見込みに対して実際の人数が書かれておりまして、実績数は右側の表になります。</p> <p>第1号被保険者の内訳で前期高齢者の令和3年度が781人、後期高齢者の令和3年度がマイナス593人と、大きく変化しているものとしていないものがあり、第1号被保険者数は令和3年度で188人の差で令和4年度は163人の差、5年度においても47人と40,000人に対して1%以下の誤差になっております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>実際の変化については引き続き、調査を行っているところです。大きな要因は今説明した通りです。</p> <p>次に、同じページの下の要介護、要支援認定者数の実績及び見込みをご覧ください。</p> <p>実際の各年度の認定者の数を記載しています。計画との差としては右の表になりますが、令和3年度～令和5年度の数値でマイナスになっているものに、要介護者が減少しているという傾向がありますが、要因については調査しているところです。</p> <p>結果としては以上です。</p> <p>次に、2ページ目の地域密着型サービスの整備計画をご覧ください。実際に整備された実績値を掲載しております。</p> <p>定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の4つの施設につきましては、整備計画を立てて施設数を計画したもので、右側の表に、実績を反映しております。3段目の認知症対応型共同生活介護（グループホーム）は施設整備計画量を達成しております。</p> <p>同じページの下段の施設整備計画につきましては、施設整備見込量に対して、介護老人福祉施設がマイナス1で、保健施設については整備なしという事ですので、実際の整備はなかったというところです。</p> <p>第8期の計画では計画されていなかったものですが、実際には特定施設入居者介護の整備がありましたので、今回、新規項目として追加し、実績値として掲載しております。</p> <p>3ページ目をご覧ください。第8期介護保険事業計画の整備状況です。2ページ目の地域密着型サービスの整備計画で先に数字のみを挙げておりましたが、3ページ目には1行目と4行目と5行目と8行目に整備計画がありという事で、同じように整備の計画を立てたものが二重掲載されております。そこに事業量を見込んだものが載せてありまして、結果については、右側にお示しをさせていただいております。これについても最終行に地域密着型通所介護という新規項目追加をさせていただ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>いておりますが、こちら8期の計画にはないもので、実際の数を追いかけてみたところ実績値としては、令和3年度が10、令和4年度が12、令和5年度が12という事で、実績数を参考として掲載しました。説明は以上となります。</p> <p>事務局より説明をいただきましたが、入間市としてはどのような傾向と捉えてよいのでしょうか。</p>
介護保険課主幹	<p>本日お示しました事例については実績値ですので、今後の推計に関してはより分析が必要かと思いますが、まだ、正確に掴めている状況ではありません。今後、審議会や策定部会にお示したいと思います。</p>
議長	<p>この表をどのように見るのかですが、質問やご意見があればお願いします。</p> <p>では、無いようですので、質問させていただきます。</p> <p>第1号被保険者の後期高齢者は、今後、人数として減って行く状況だろうと思いますが、それについてはいかがですか。</p>
介護保険課主幹	<p>推計値との差になりますので、実際には数字を追っていかねばなりません。2042年に向けて団塊の世代が移行して行きますのでその途中の過程になり、分析としてはまだ掴んでいない状態です。</p>
議長	<p>この資料だけでは読めないです。そのあたりの分析について尋ねたかったわけです。</p>
介護保険課長	<p>今期に高齢者数で大きく変わったところとしては、後期高齢者に対して74歳までの前期高齢者数が多かったものが、昨年の6～7月時点で逆転しましたので、当面、75歳以上が割合としては増えて行くの見込</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>んでおります。今後、団塊ジュニア世代が前期高齢者に到達すると、そこでまた変わってくると思います。</p> <p>ありがとうございます。第2号被保険者についてはどうですか。</p>
介護保険課主幹	<p>第2号被保険者は疾病を持っている方が対象になりますので、現時点での傾向はわかりません。</p>
川名委員	<p>策定部会でも話に出ましたが、この集計表の要介護認定数がマイナスになっている要因として、フレイルのための介護予防事業の取組が盛んに行われていることが実績に反映され、要介護に移行する数が減少しているのではないのかという意見がありましたが、それについての調査分析はいかがですか。</p>
介護保険課主幹	<p>要介護と要支援の実績については、まだ、確実なものは掴めていない状況です。</p>
小池委員	<p>2枚目の施設整備で、今年度より特定施設入所者介護という新規項目を追加されましたが、数字を見るとかなり施設利用者が多い。この特定施設が市内に整備されるのはいつ頃ですか。</p>
介護保険課副主幹 (事業所担当)	<p>記載する特定施設とは介護3施設とは別扱いの有料老人ホームです。特定施設入所者生活介護の指定を受けると介護保険を利用したサービス付きの有料老人ホームを運営することができます。指定条件については県が定めており、許認可にあたり建築予定の1～2年前の段階で市の意見を求められます。市で支障ありと回答しても、県の整備計画があり、県内の施設間のバランスにより指定場所を決定しますので、今回は入間市内に指定許可が下りたために建築するものです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小池委員	決して、否定的な意見ではなく、多様化する高齢者施設においてサービス付き高齢者住宅が多くなって来ているので、このように数値で表されているとわかりやすいと思い、流れを訊きたいと思い質問しました。
議長	資料1の2ページ目の介護老人福祉施設の整備量の値が定員数になっていますが、全施設の合計ですか。
介護保険課副主幹 (事業所担当)	介護老人福祉施設は、待機者がありますので、すべて満床で定員いっぱい状況です。
議長	待機者数は、どの位ですか。
介護保険課副主幹 (事業所担当)	昨年の段階では、市内で230人前後です。
議長	全員が入所基準に該当している方ですか。
介護保険課副主幹 (事業所担当)	介護老人福祉施設の入所基準は要介護3以上ですが、要介護1から申し込めます。施設ごとに待機者名簿があり、県に提出した各施設の申し込みリストを精査し、重複分を省いたものですので待機者の実人数です。
議長	計画値10に対して実績がマイナス1ですので、まだ、整備が進んではいませんが、対象となる法人の基準はありますか。
介護保険課副主幹 (事業所担当)	社会福祉法人や医療法人が名乗りを挙げてくれるわけですが、8期計画には間に合わなかったものの希望を出してくれた法人がありましたので、令和6年度中には1施設が完成する予定です。

発 言 者	発 言 内 容
議長	240人が待っていますで、是非実現させてください。他にありますか。
瀧澤委員	先ほどの川名委員の質問で、本日は検討部会からの質問に対する回答がありませんでしたが、回答はいつ頃になりますか。
介護保険課長	介護要望の効果を数字で表すことは難しい状況があります。介護事業に参加された方、包括支援センターが開催する介護事業に参加された方、日ごろのサークル活動や健康推進クラブの活動などが、介護予防に寄与しているものとして効果があったと推測することはできるが、様々な要因が絡むものですから、介護予防の効果があると立証されているものの数値を具体的に表すことは難しいです。
瀧澤委員	<p>介護予防の効果については、包括支援センターの職員の努力の賜物だと思いますので、実績に表れなくともなんらかの形で評価できるものがないと、やる気を削ぐ結果になると思います。</p> <p>「こういう事で成果が出ている」ということがわかればいいと思います。</p>
議長	ありがとうございます。是非そうした事をみつけてもらい評価して良いところを示していただきたいと思います。
吉田委員	入間つつじ園の方では60名の申し込み待機者がいますが、医療や設備の環境面で受け入れることができない状況があり、逆に入居者の確保に苦勞し、ぎりぎりの状態でなんとか運営している状態です。有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅は要介護1から入所できるために利用者が民間施設に流れ、特別養護老人ホームの入所条件である要介護3以

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>上または生活困窮者に見合うような利用者がみつからないまま、都内や県外まで申し込みの案内に奔走しています。介護士の確保も難しい中、市内に特別養護老人ホームが新設されるとさらに状況が悪化しますので、待機者が240名だから100床増やすのではなく、既存施設をどのように活用するかを計画でも検討していただきたい。</p> <p>施設同士で利用者の取り合いが起こっている現状を把握したうえで施設の声を聴きながら計画を立てていただきたいです。</p> <p>同様の意見を策定部会で意見として出しました。特養内のデイサービスの利用者も入所者も減ってきていますし、策定部会の他の委員からも意見が出ていますので、現状把握を行政機関にきっちりしていただいて、共倒れにならないように対策を考えていただきたいです。</p>
議長	事務局どうですか。
介護保険課長	特別養護老人ホームについてはミーティングがありますので、情報を共有して今後の計画に反映したいと思います。その他の事業所についても、詳細を把握して計画に反映したと思います。
小池委員	介護医療院が医療補助を受けられる医療施設かと思います。神経難病や癌末期は治療が進み余命2年～3年と延命される方が増えてきたため、介護保険が使える医療施設でのショートステイや施設利用が必要かと思いますが、市内には一軒もありませんがどうですか。
介護保険課長	ハードルが高いために市内には無い状況です。いままでの介護療養型医療施設からの意向があり介護医療院を設置したいという声が上がって来ない状況です。計画に関しては近隣他市に設置している介護医療院の状況を参考に検討して行く考えです。

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>介護医療院は介護保険が始まった年にできた第三の介護施設という理解でいいですか。</p>
介護保険課副主幹 (事業所担当)	<p>介護療養型の医療施設老人病院が移行して介護医療院に改称されています。</p>
小池委員	<p>医療依存度の高い方が増えていますが、施設探しで他市の施設も利用しなければならないような状況がありますし、40歳以上の神経難病が増えていきますので、医療が必要な方の施設整備も前向きに検討していただければと思います。</p>
議長	<p>他にご意見はありますか。無いようですので、次に各論について川名部会長より報告をお願いします。</p>
川名部会長	<p>お手元の資料2をご覧ください。策定部会では、資料が二つありまして、決まる前の資料と確定した資料を比較しながら議論をいたしました。皆さんのお手元には策定部会を通して修正されたものが配布されています。策定部会の意見としましては、全体的には表示がわかりやすくなり、特に良いのは実施する担当課が記載されるようになり、「どこがやっているのかがわかりやすくなった」という意見が出されました。</p> <p>次に、基本目標に続く説明文や取組概要の一文が長くて読みづらい文章であったものを、読み易いように分けて文章構成をし直してもらいました。</p> <p>また、細かい表現については、委員より意見が出ましたので事務局に修正をお願いしました。</p> <p>全体的な意見としては、基本目標3の「市民が市民を支えあうまちをつくる」が、計画のポイントになるのではないか、ここを大切に計</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>画を創っていったらどうか、市民が市民を支え合うのですから市民にわかりやすいように丁寧な計画内容を立てていただきたいという意見が出ました。</p> <p>そのためには、パブリックコメントの説明会の参加者が非常に少ないため、説明会を市民の意見を広く聴く場として提供してはどうかという提案があり、提案をしても良いものなのかわかりませんが、市民に響く計画を創るために、広く意見を聴く機会として、また、パブリックコメントにも様々な方に参加していただく機会として、この意見を取り上げて欲しいという意見が出されていまして。これについては、事務局に策定部会からお願いをしました。細かいところは修正されております。以上で策定部会の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございます。「市民が市民を支え合うまちをつくる」という基本目標3を活かすような前向きな姿勢で取り組んでいただけるといいと思います。つづいて、資料2について事務局より説明をお願いします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>では、資料2について説明させていただきます。</p> <p>事前に送付いたしましたこの資料2は、現計画案の21ページから74ページまでで、9月19日の策定部会において市が次期計画で取り組む事項についてお示しをしたものに、さらに修正を加えた資料になります。介護保険制度の安定的な運営については実績値を出したところですので検討中のため、省いてあります。</p> <p>次期計画では各論部分の表現方法について見直しを行いました。事前に送付いたしました資料に説明がありますので、ここでの説明は割愛させていただきます。</p> <p>新たな記載については「取組内容に関する課名を記載すること」とし、市民や団体が取組についてどこに問い合わせを行えばよいのかがわ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>かりやすくなっております。</p> <p>資料中の網掛け箇所については、前回の審議会で配布しました資料の「骨子の検討」の網掛け部分に関連した内容になっております。</p> <p>策定部会の意見としては、読みやすさや伝え易さなど表記の方法と取組内容についての意見をいただきました。それらを踏まえ、事務局で再検討を行って修正したものが本日のお手元にあります資料になります。策定部会後に修正を行った箇所については、文言の修正、全体的な取組の統合や追加や修正等も行い、修正箇所には下線を引いております。</p> <p>策定部会では、市民説明会において市民座談会を開催し市民の意見を集めて計画に反映してはどうかという意見が出され、計画は市民の意見を聴いて創るべきという意見から座談会は1回限りではなく、最低5回ぐらい行う必要があるという意見もいただきました。こちらの意見についても、検討させていただきました。</p> <p>現在、定期的な取組として地域包括支援センターを中心に地域ケア会議を実施し、地域の高齢者のニーズ等の課題把握を行っております。また、提案のあった座談会の開催については、今後のスケジュール面から今回の計画中に行っていくのは厳しいというところがあります。事務局としては、先にはなってしまうますが、令和9年度からの計画の見直しで、計画の初期段階より座談会を開催し、次期計画に向けた検討課題を把握して行く方向で考えております。</p> <p>委員の皆様におかれましては表記方法などについてご意見や取組内容に関するご質問ご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>基本目標1の2行目から3行目にかけて「地域活動や交流の機会を充実するとともに」という文言について、「充実させるために」という表現は使わないのですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課主幹	行政用語にこだわったわけではありませんので、「充実させる」で問題はないと思います。
議長	他にご意見はありますか。
木村委員	<p>表記方法についてです。資料2の1ページ、①「介護予防フレイル予防の普及啓発」の「○閉じこもりなど通いの場に参加していない者へのアプローチ」という文言について、「通いの場に参加されていない方へのアプローチ」ではないでしょうか。</p> <p>3ページ目の①「高齢者のボランティア活動への参加促進」の最終行の「○ボランティアと高齢者を繋ぐ情報を発信します」という文言については、この内容ですと「ボランティア活動」ではないでしょうか。文字数の関係ですか。</p>
高齢者支援課主幹	文字数は関係ありませんので、検討いたします。
議長	他にご意見はありますか。
瀧澤委員	<p>3ページの「生きがいつくりの推進」で③健康推進クラブ活動支援の具体的な取組の文言に「○健康推進クラブに補助金を交付します」と「○健康推進クラブや健康推進クラブ連合会が開催する事業を支援します」とありますが、健康推進クラブ連合会も補助金を受けていますので、訂正してください。</p> <p>最終行に「広報いるまや入間市健推だより」という表記がありますが、本日配布しました冊子が「健推連だより」です。「老連だより」を「健推連だより」と改称し、統一しましたので、訂正してください。</p>
高齢者支援課主幹	「健推連」と略した名称でよろしいですか。正式名の方がよろしいで

発 言 者	発 言 内 容
	<p>すか。</p>
瀧澤委員	<p>正式名をお願いします。</p>
議長	<p>他に何かありますか。</p>
川名委員	<p>ボランティアについては社会福祉協議会が設立したボランティア養成講座の受講者とその他のボランティア活動と捉えがちですが、入間市では市全体での市民活動として地域活動や高齢者のためのサロン活動をはじめとしたボランティア活動を活発に行っており、高齢者へのボランティアは広域にわたり、団体の種類も多数です。ずっと以前から各地域で多くの市民が熱心に活動され、先ほどのフレイル予防にも貢献されていますので、計画にもボランティア以外に「市民活動」や「市民団体」という言葉を加えてください。市民の貢献を市にも認めていただきたいと思います。</p>
議長	<p>「社会参加の促進」の欄にボランティアがありますが、基本目標3「市民が市民を支え合うまちをつくる」にも「市民活動」について加えていただくと基本目標3がもっと生きるのではないかと思います。</p>
松下委員	<p>「入間男塾」という男性ボランティアを養成するための会議に出してきました。計画案については以前より文章が読みやすくなり、文言に社会福祉協議会という名称が多数記載されていますので、社会福祉協議会としては行政と一緒に役割を担いながら地域と市民のための活動をこれからも進めて行きたいと思いますが、地域の皆さんの独自のボランティア活動が入間市に幅広くあることが、市民が市民を支える活動が活きている理由だと思いますので、市民が地域のために頑張っている活動だということを重要視して考えていただきたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小池委員	<p>9ページの「認知症サポーターの養成」です。今年度の高齢者施設対象の養成では現場で働く職員であっても認知症高齢者の理解がなされていない、認知症をひとくくりにはいけないと思いましたので、認知症サポーターの養成をこれからも広めていく必要があると思いました。</p> <p>具体的な取組に「○地域や地元企業において認知症サポーター養成講座を開催します」とありますが、基本目標3を目指すのであれば、地域ではなく「市民の方」という表記の方がわかりやすいと思います。</p>
中林副会長	<p>13ページの②「虐待の早期発見と相談体制の充実・強化」で最近では民生委員の訪問ができなくなり、名誉棄損などで訴えられたりしていますので、「民生委員の訪問」を「活動」に替えていただきたいです。</p> <p>不登校が増えていますが、児童委員も担任も訪問ができないのが実情ですので、「訪問」は避けていただきたいです。</p>
議長	よろしいですか。
高齢者支援課主幹	修正いたします。
議長	他に何かありますか。無ければ次第(2)その他に移ります。事務局から何かありますか。
高齢者支援課主幹	<p>資料の3をご覧ください。前回計画策定時の市民説明会における開催数と参加者数の実績を表したものになります。前回の市民説明会では、審議会の委員にもご協力いただき、説明会に同席をいただき、各地区において10回開催をいたしました。開催にあたってなるべく多くの市民の方に参加をいただくために、市報への掲載はもちろん、自治会、健康推進クラブ、民生委員の方々にも声をかけさせていただきましたが、各</p>

発 言 者	発 言 内 容
瀧澤委員	<p>会場の参加人数が10人前後の状況でした。このことを踏まえ今回の計画の説明会については、開催回数を3回から4回程度に変更させていただきたいと考えております。開催回数の減少を補填する方法として計画の説明動画を撮影し、市のホームページなどで公開することで、市民がいつでも計画の説明を観られるようにしたいと考えております。以上、事務局からの提案ですが、委員の皆様にご意見を伺いたいと思います。</p> <p>市民説明会は法的には開催しなくてもいいものですか。都市計画法では縦覧は法的にやらなければいけないというものがあり説明のために開催するのか、あるいは市としてより多くの市民に知ってもらうために開催するのか、どちらですか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>説明会は計画を広く知ってもらう趣旨です。例えば、介護保険料の変更を市民に知ってもらうためのものです。開催回数も年度ごとに違いがありますが、前は圏域ごとに説明会が必要ということで10回に増やしました。</p>
瀧澤委員	<p>前回の開催はいつ頃ですか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>令和2年度です。</p>
瀧澤委員	<p>記憶にないけれども動員の仕方の問題ではないですか。例えば健康推進クラブの役員会で参加を要請するなどをすればもう少し参加者が増えると思います。</p>
川名委員	<p>前はコロナの自粛で外出が禁止の時ではありませんか。</p>
中林副会長	<p>前は民生委員も参加しました。参加者はほとんど民生委員でした。</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>コロナ禍の自粛で市民の参加者がありませんでした。</p> <p>この計画は高齢者に説明して済むものではないので、これまではお世話をする側の社協や地域包括支援センターの職員が参加していましたが、広報手段を替え、紙ベースからあらゆるSNSを使って発信してはどうですか。これから自分の親も高齢になって行くので、学生に意見をもらいたいと思いますし、市民全員が情報をもらう権利があるので、関連した人達だけが参加するのは時代遅れだと思います。自治会などにはクチコミで集めてはどうですか。</p>
瀧澤委員	異議なし
議長	方向性は川名委員の発言通りだと思います。
高齢者支援課主幹	<p>それでは、開催回数は事務局の方で検討させていただき、人の集め方の工夫についても検討させていただくということによろしいでしょうか。</p>
全委員	その方向でお願いします。
高齢者支援課主幹	<p>次回の審議会で市民説明会の日程をお示しします。その際に委員の皆様には同席できる日にちをお尋ねしたいと思います。</p>
議長	<p>他に連絡がないようですので、本日の議事はすべて終了いたしましたので、議長の座を下ろさせていただきます。皆様ありがとうございました。</p>
高齢者支援課長	春奈会長ありがとうございました。（2）その他です。

発 言 者	発 言 内 容
瀧澤委員	<p>瀧澤委員より健康推進クラブ連合会について説明があります。</p> <p>健康推進クラブ連合会では、毎年2回健推連だよりを3月と10月に2回、発行しております。昨日、手元に届きましたので、委員の皆様にご覧いただきと配布いたしました。入間市健康推進クラブ連合会になってから初めての発行物です。広報委員の方にも勉強をしていただきまして、今回はサブテーマを健康にチャレンジとし、これからはこのチャレンジをテーマにして会員の募集なども図ってきたいと考えています。高齢者支援課にご協力をいただき会員募集を大々的にやって行こうかと思っておりますので、区長会などにもご協力いただければと思います。11月の募集予定で、年度内にどのぐらい会員が集まるかわかりませんが、健康推進クラブにご理解をいただいた40数件の広告料でまかなっております。敬意を表し、頭が下がる思いです。広告を無駄にしないように立派なものを造って我々も本気で活動して行きたいと思っておりますのでご支援をお願いいたします。</p>
高齢者支援課長	<p>他にございますか。</p>
春名会長	<p>10月19日10時から市民体育館と運動公園で入間市障害スポーツフェアを開催いたします。小さなお子さんから年配者まで参加いただいておりますので、高齢者が健康で生き活きと暮らせる町をつくる健康づくりの一環として参加いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
高齢者支援課長	<p>他にございますか。無ければ事務局より次回の審議会のお知らせをさせていただきます。</p> <p>次回の審議会の日程は10月26日(木)、会場は本日と同じく501</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>中林副会長</p> <p>高齢者支援課長</p>	<p>会議室、時間も午後1時30分からを予定しております。</p> <p>次回の審議会につきましては開催が近づきましたら改めてご通知申し上げます。それでは最後に中林副会長より閉会の挨拶をいただきたいと思っております。</p> <p>(閉会あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。次回も引き続きよろしく願いいたします。皆様大変お疲れ様でございました。</p> <p>～令和5年度第4回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年1月16日

議 長 の 署 名 春名 恭一

議長が指名した者の署名 川 知子 鶴子